

# 授 業 概 要

<b>授業のタイトル (科目名)</b> 相談援助実習指導	<b>授業の種類</b> (講義・演習・実習)	<b>授業担当者</b> 木村 彰裕・保田 浩美 濱田 新・花内 菜由
<b>回数</b> 45 回 (前期 30 回/後期 15 回)	<b>時間数 (単位数)</b> 90 時間 (前期 60 時間/後期 30 時間)	<b>配当学年・時期</b> 1 年 通年
<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		

## [授業の目的・ねらい]

本科目は、相談援助実習の意義について理解し、相談援助実習が有意義にかつ最大限の実習効果を得られるようにすることを目的とする。相談援助実習は、理論学習や相談援助演習等の延長線上で、より具体的実践的な体験ないし経験によって学習することを目的とする。また社会福祉士の知識、技術、技能さらには価値、倫理等を、現場で総合的に応用することをねらいとしている。よって本科目は、相談援助実習と一体的かつ相互補完的に実施する。

## [授業全体の内容の概要]

相談援助のための知識、価値、技術および、総合的かつ包括的な援助を理解し、具体的な体験や援助活動を専門的援助技術として概念化し理論化し体系立ててできるように概説する。

## [授業修了時の達成課題 (到達目標)]

1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得できる。
2. 社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得できる。
3. 関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に理解できる。
4. 自身の目指す社会福祉士像とは、社会福祉士に必要な知識・倫理・価値・技術とは何かを説明できる。

## [授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

1 オリエンテーション	25 事前学習報告会準備
2 相談援助実習の意義	26 事前学習報告会準備
3 福祉施設等の概要	27 事前学習報告会準備
4 福祉施設等の概要【調べ学習】	28 事前学習報告会準備
5 福祉施設等の概要【調べ学習】	29 事前学習報告会
6 福祉施設等の概要【調べ学習】	30 事前学習報告会
7 実習先の地域の概要理解	31 相談援助実習の振り返り
8 実習先の地域の概要理解	32 相談援助実習の振り返り
9 自己紹介書・実習計画立案	33 相談援助実習の振り返り
10 自己紹介書実習計画立案	34 相談援助実習の振り返り
11 自己紹介書・実習計画立案	35 相談援助実習の振り返り
12 自己紹介書・実習計画立案	36 実習報告会
13 実習指導事前訪問準備	37 実習報告会
14 実習指導事前訪問準備	38 事後学習
15 自己紹介書・実習計画立案	39 事後学習
16 自己紹介書・実習計画立案	40 事後学習
17 自己紹介書・実習計画立案	41 相談援助実習報告書作成
20 自己紹介書・実習計画立案	42 相談援助実習報告書作成
21 記録の目的・書き方	43 実習のまとめ
22 個人情報保護法	44 実習のまとめ
23 スーパービジョンとは	45 実習のまとめ
24 スーパービジョンとは	

## [使用テキスト・参考文献]

社会福祉小六法 2021  
配布資料

## [単位認定の方法及び基準]

授業態度、試験、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。  
 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。  
 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。

